

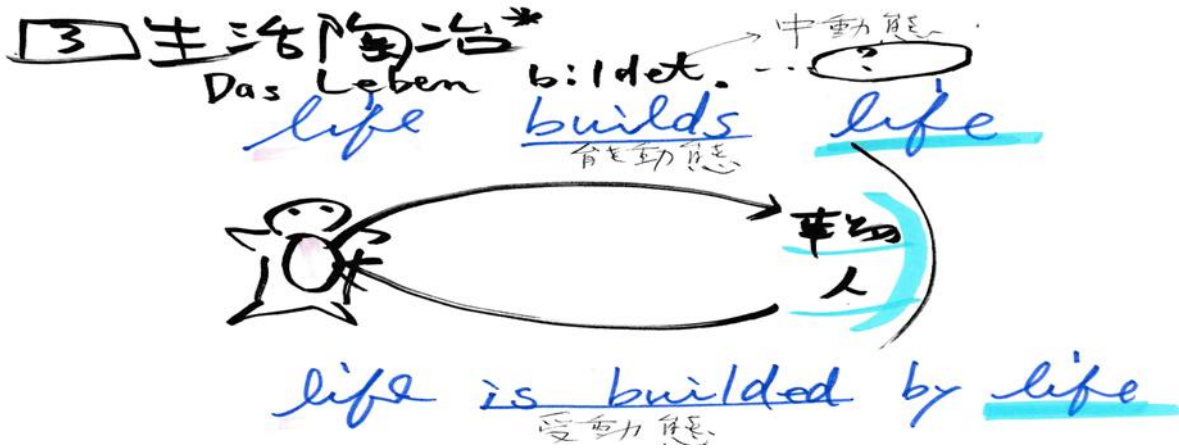
「教育課程論」まとめ

教育原理

【動画】 デューイ『民主主義と教育』の全体像 (57分) [https://youtu.be/K4\\_sz9GYn0g](https://youtu.be/K4_sz9GYn0g)

「エンジョイ○○」 enjoy=権利・人権の行使、享受 「法」との対応

衝動 → 興味・関心 →目的 職分|職業 世界・日本・地域の課題  
思考



教育社会学

何が「問題」だったか。内なる自然が抑え込まれている。実社会から切り離されている。→自我の危機=防衛機制

「エンジョイ○○」の分断 ←競争 戦争・経済・「学力」 年表

いじめ・弥富 ←その生徒の「エンジョイ○○」に目がいかない。原因も「解決」の手がかりも見えない。

人生の問題

近代以前	近代化・資本主義化	発達課題	日本国憲法
	個人主義	夢・志	第19条 思想及び良心の自由
	アソシエーション	仲間	第21条 集会・結社の自由
	産業革命・資本主義化	職業(就活)	第22条 居住・職業選択の自由
	家族革命	恋愛・結婚・家庭(婚活)	第24条 婚姻
	工場法・義務教育	学校	第26条 教育を受ける権利
	市民革命	政治(選挙)	第15条 参政権
	農業革命・科学革命	環境	第25条 生存権

図表2 資本主義は人類の思春期

いよいよ問題の「解決」 生徒理解+世界・日本・地域の問題の理解→「エンジョイ○○」の発揮

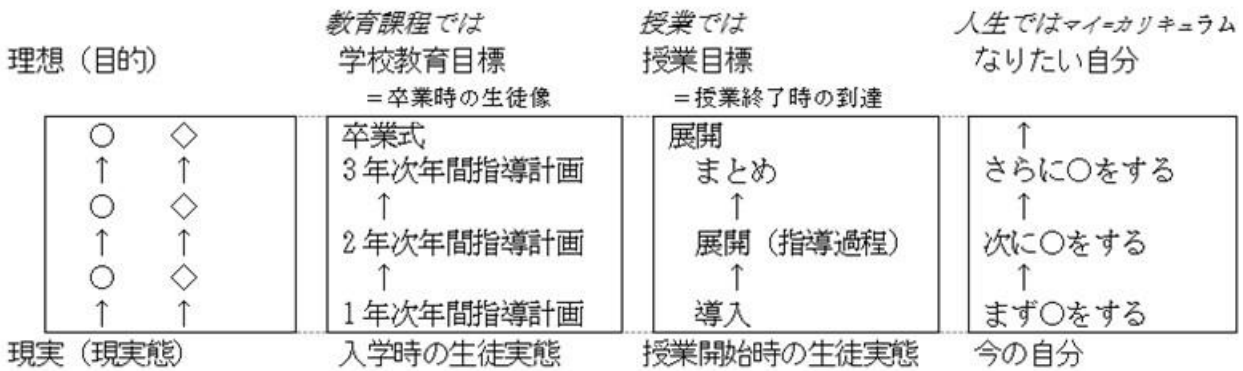
教育目標（の階層性） 法、SDGs、学習指導要領などとの対応 『教職教養の要点理解』との対応→B列

3つの資質・能力 社会に開かれた教育課程 社会的問題（振興計画、馳プラン）

中学生の発達構造 メッセナゴヤ

カリキュラムという問題解決過程

カリキュラム=ある時の現実と理想をつなぐ経験の総体



埋めていく 構想 夢を描く →A列に すごい実践を知る←自分でどんどん調べてほしかった

学校教育目標 大学だとディプロマポリシー（DP）												
	教科			特活				総合	キャリア リア 道徳	地域 学校 協働	デジ タル	
	数学	工業	情報	HR	生徒 会	行事	（ク ラブ）					
3年												
2年												
1年												
資質・能力 （ω αβγ）												
入学時の生徒の到達点 特徴 大学だとアドミッションポリシー（AP）												

自分でどんどん・・・ オンデマンド課題で、他の人の情報提供を参考にし始める！ +グループ活動

マイ=カリキュラム はじめてのワーキング・ホリデー <https://www.jawhm.or.jp/start.html>

生徒理解 【4タイプまとめ】人間関係を見極めるツール 54:20 <https://youtu.be/Q3AOGmhCLaM>

☆学生の主体的学び→大学のカリキュラム、教職のカリキュラムをよく研究してMCと連携 →C列に書く

主体が育つカリキュラム 「エンジョイ○○」を軸に、「ゼミ」(なければ一人ゼミ、自主ゼミ)+専門

潮木守一『京都帝国大学の挑戦』ゼミ (明治37年 高文試験で惨敗したが)

「教育課程論」も、教室やICT技術のばらつき、2クラス同じ展開などの「悪条件」のなか、なんとか学生の実態に合わ

せて、刻々とシラバスを更新してきた。「教育原理」からの積み上げ。成果は??? 愛知県工業3名合格

【表2-1】教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
第三欄	2		2									
教職論	2		2									
教育原理 ★	2		2									
教育心理学 ★	2			2								
教育社会学 ★	2				2							
特別支援教育の理論と指導方法	2							2				
教育課程論	2					2						
第四欄	2						2					中1種免許のみ必修
道徳教育の理論と実践	1							2				
総合的な学習の時間の指導法	2								1			
特別活動の理論と方法	2										2	
教育方法論	2					2						
生徒・進路指導論	2									2		
教育相談の理論と方法	2								2			
第五欄	1						1			1		中1種免許のみ必修
教育実習指導	2									2		
教育実習A	2									2		
教育実習B	2									2		
教職実践演習(中等)	2										2	
合計	30		4	2	2	4	3	5	7	4		
中学校教免												
高校教免	26											

(注)1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

教職系：

エンジョイ教育理念・制度

エンジョイ生徒理解

エンジョイ教育方法 エンジョイ ICT も入れようか (授業でICTを活用する)

エンジョイ教育実践

エンジョイ教科

○指導案で (授業=小さなカリキュラム) 生徒の「エンジョイ○○」の回復と未来へつないで授業を開く

大分県の指導案例で ①目標 学習指導要領は「あいまい」→くっきりさせる=教材研究 目標が発問の答え

②評価3つ 『要点理解』76-77 目標準拠。目標と裏表。 自己評価の重視 (評価されすぎると主体的でなくなる)

2、3つ目に、生徒の「エンジョイ○○」や社会的問題がでてくる。入試のためのほかに書けるか (「情報I」)。

数学の活用としての工業 普通科出身の工業希望者と、工業科出身の数学希望者 チーム

過去の経験を活かす。地域との協働。卒研の活用。教科等横断、授業におけるICTの活用。

## A(2) 文字を用いた式

(2) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。

(イ) 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。

(ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。

(エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること。

[用語・記号]

項 係数  $\leq$   $\geq$